

地域農業の在り方等を踏まえた市町村支援計画等の概要

【地区の概要】

- 水田と畑作が主体の農用地のすべてが平坦地に分布された平地農業地域
- 全域で圃場整備が実施済であるが、農業従事者の高齢化が進んでおり、担い手農業者への農地の集積を進める必要がある地区

【支援内容・背景】

- 担い手農業者へ農地集積を進めるため、地区内の担い手農業者の経営規模の拡大に対する支援と経営基盤の強化を図る必要。
- 助成対象者は地区内でいちごや野菜等、施設野菜経営を営む者であり、近年、経営面積を拡大し、加工や販売等、6次産業化への取り組みを積極的に志向、併せて、主力作物であるいちごの消費者の旺盛な需要量に応えるため、いちご生産の規模の拡大と生産性の向上に向けた取り組みを支援。



助成対象者「株式会社わさび」の経営の状況と事業内容

【経営の経緯】

- 平成25年 会社設立
- 平成28年 農業経営改善計画認定
- 平成30年 2種のいちごを独自ブランド「おのひめ」として販売し、「小野うまいもんブランド」に認定
- 令和4年 いちご狩り観光農園「chord farm 175」をオープン。
- 令和4年 「chord farm 175」直営の農園カフェをオープン。

《事業活用の背景》

- いちごの生産量増加を図るためには、栽培面積の拡大、生産性の向上、高品質のいちごを安定的に栽培することが必要。 そのために、生産規模拡大、作業の効率化、品質管理に資する施設・設備を導入。

【事業実施時の状況】  
〈R3年度〉

- 売上高 83百万円
- いちご 0.18ha
- 野菜(かぼちゃ) 0.37ha  
(さつまいも) 0.20ha

《事業による整備内容》

- ハウス3連棟  
事業費 42,350千円
- いちご高設ベンチ工事  
事業費 15,664千円
- 暖房機・CO2施設設備工事  
事業費 5,995千円  
(補助額)国費:15,000千円  
市費:1,500千円



【現在の経営状況】  
〈R6年度〉〈R3年度対比〉

- 売上高 140百万円 (168%)
- いちご 0.38ha (211%)
- 野菜(かぼちゃ)0.71ha (191%)  
(さつまいも)0.60ha (300%)

事業の  
効果

《対象者》 経営面積の拡大と、高品質ないちごの供給が実現、併せて、他の路地野菜の生産面積も拡大したことで、売上高が増加し、経営基盤の強化を図ることができた。

《地区》 地区内の担い手である施設野菜経営の生産体制の強化が図られたことで、農地集積が進み、新たな6次産業化への展開にも繋がったことで、安定した大規模園芸施設等の経営モデルが確立。